

みずほCustomer Desk Report 2018/10/10号(As of 2018/10/09)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	113.06 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.12	1.1494	130.00	1.3090	0.7072
SYD-NY High	113.39	1.1503	130.23	1.3150	0.7106
SYD-NY Low	112.87	1.1433	129.35	1.3034	0.7054
NY 5:00 PM	112.97	1.1492	129.82	1.3146	0.7104

NY DOW	26,430.57	▲ 56.21	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	7,738.02	2.07	日本10年債	0.1600	2.00bp
S&P	2,880.34	▲ 4.09	米国2年債	2.8872	0.01bp
日経平均	23469.39	▲ 314.33	米国5年債	3.0531	▲ 1.88bp
TOPIX	1761.12	▲ 31.53	米国10年債	3.2054	▲ 2.56bp
シカゴ日経先物	23,555.00	▲ 100.00	独10年債	0.5490	2.35bp
ロンドンFT	7,237.59	4.26	英10年債	1.7145	4.10bp
DAX	11,977.22	30.06	豪10年債	2.7745	0.45bp
ハンセン指数	26,172.91	▲ 29.66	USDJPY 1M Vol	7.23	▲ 0.29%
上海総合	2721.0130	4.50	USDJPY 3M Vol	7.24	▲ 0.04%
NY金	1,191.50	2.90	USDJPY 6M Vol	7.73	▲ 0.08%
WTI	74.96	0.67	USDJPY 1M 25RR	-0.85	Yen Call Over
CRB指数	200.37	0.61	EURJPY 3M Vol	9.07	0.05%
ドルインデックス	95.68	▲ 0.08	EURJPY 6M Vol	9.46	0.04%

東京	東京時間のドル円は113.12レベルでオープン。前日からリスクオフモードが続く中、日経平均株価も前日と比較的な展開となったことも相俟って、公示仲値にかけて112.93まで下落。その後しばらく113円ちょうどの揉み合い推移となるも、米10年債利回りが直近高値を上抜けて約7年ぶりの水準まで小幅上昇すると、東京時間高値となる113.22まで反発。前日に大幅下落となった中国株が前日終値近辺で下げ止まり、中国株に対する警戒感が緩むと、ドル円は113円台前半で横這い推移となり、結局113.17レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.17レベルでオープン。約7年ぶりの高水準となった米長期金利や堅調なオープンとなった欧州株などを背景にリスクオフモードがやや後退、朝方は円売りが優勢となりドル円はこの日の高値となる113.39まで上昇。しかし、伊予算案への懸念から伊長期金利が4年ぶりの水準まで上昇するとリスクオフモードが強まり、113.05まで売られる反落する場面もみられ、結局113.13レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1473レベルでオープン。米長期金利の上昇を背景にドル買い優勢となる中、欧州株が堅調なオープンとなると1.1487まで堅調推移。その後、伊国債と伊株が売られるとユーロも売られ1.1433まで低下し、そのまま1.1435レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3080レベルでオープン。固有のヘッドラインが流れない中、ユーロに連れた動きとなり一時1.3034まで下落し1.3036レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	中国人民銀行が今年4回目の預金準備率引き下げを発表したものの、中国景気に対する懸念は払拭されず、前日に中国株が大幅に下落したことさらに上値の重いドル円は、海外市場で112.93まで下落し、その後はイタリアに対する懸念からドルが買われる展開に113.39まで戻し113.13レベルでNYオープン。朝方はドル買い優勢地合いに113.33まで上昇するが、上昇していた米金利が反落する展開に加え、USD/CNHも下落する動きとなると、ドル円は113.01まで下落。午後には一旦113.15まで戻す場面もみられたが、米金利が低下する中、対ユーロ、ポンドでドルが売られる展開となり、ドル円は上値を重くし再び112.98まで反落する。終盤にかけては、トランプ米大統領が米金利について「そう急ぐ必要はない」と発言したことが伝わるとドル売りが強まり、112.87まで下落し、結局112.97レベルでクローズした。一方、欧州委員会がイタリア政府の予算案が大きく逸脱していると指摘したことから軟調なユーロドルは、海外市場で1.1433まで下落し、1.1435レベルでNYオープン。朝方は、軟調な動きが先行するも米金利が低下する中、徐々にユーロショートカバーの動きが強まり、1.1481まで戻す。午後後も来週の月曜までにブレグジットの諸条件で合意に至る可能性とのヘッドラインを受け、ポンド、ユーロが対ドルで買われたことから1.1503まで戻す。終盤に掛けては、新規材料に欠ける中、狭いレンジでの推移が続き、1.1492レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 岡本・鶴田

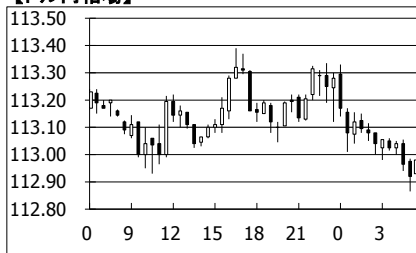
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月9日	09:30	豪 NAB企業景況感	9月 15	-
	09:30	豪 NAB企業信頼感	9月 6	-
	21:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	「利回りに上昇は『矛盾する要因』を反映」	

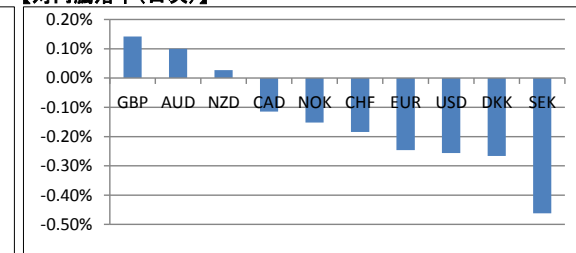
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月10日	08:30	豪 ウェストバック消費者信頼感指数	10月 -	100.5
	10:10	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	11:30	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	8月 0.1%/1.0%	0.1%/0.9%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	8月 0.1%/1.1%	-0.2%/1.1%
	18:00	英 ホールデンBOE理事 講演	-	-
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	9月 0.2%/2.7%	-0.1%/2.8%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	8月 0.8%	0.8%
	23:00	米 卸売売上高(前月比)	8月 0.5%	0.0%
10月11日	01:15	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.70-113.70	1.1450-1.1580	129.50-131.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円は小幅に下落。特段目立ったヘッドラインない中、米株が伸び悩む一方米金利が低下する流れにつれ、ドル円は113円を割り込み112.97レベルでクローズ。引き続き新規材料に乏しく、再び114円台を窺うのは難しいだろう。株などのリスク資産が下落する展開も予想しつつ、足元のレベルで方向感なく推移するのではないか。